

校内研修計画

甲州市立東雲小学校

1. 学校課題

本校の児童は明るく素直で、友達と仲良く協力して活動したり、決められたことに真面目に取り組んだりすることができる。縦割り活動をはじめとする児童会活動では、上級生が下級生の面倒をよくみており、そのことが次の学年に引き継がれている。また、児童会が中心になってあいさつの取り組みを続けることで、学校や地域でもあいさつを交わす様子が見られるようになっている。

学習では、課題に対して意欲的に取り組み、よく考えて学ぶ様子が見られる。今日的な課題や甲州市「確かな学力」育成プロジェクト事業の取り組みの一つであるQ-U検査の実践などを踏まえて、学級集団づくりを基盤に取り組んでいる。しかし、Q-U検査とNRT検査のクロス集計では、授業の中で二次支援、三次支援が必要とされる児童が、各クラスに少なからずいることも明らかになっている。そのような児童の実態を踏まえ、学ぶ意欲をもって学習に取り組めるように共に学ぶ学習集団をつくっていくことが大切だと考える。

休み時間、なわとびやボール投げの検定を積極的に楽しむ児童の姿が見られる。自分の記録を伸ばそうと努力する様子は、とても生き生きと輝いている。今後はさらに自分から進んで体を動かすことを楽しみ、運動や遊びを工夫して取り組めるよう、学校教育目標である「自ら学び 心豊かに生きる 児童の育成」に向けた教育活動を進めていく。

2. 研究主題

「主体的に運動を楽しむ児童の育成」

～ 体を動かす楽しさや喜びを感じる体育の授業を通して ～

3. 主題設定の理由

新学習指導要領（平成29年3月告示）の総則では、学校の教育活動を進めるにあたり、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、「豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に、生きる力を育むことを目指す」と明記され、児童の「生きる力」を育むために実現すべき事項として三つの中の一つに、「学校における体育・健康に関する指導を、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実につとめること。」とある。また、体育の目標には「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、体と心を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進して豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す」となっている。子どもたちが、生涯にわたって運動することを楽しんだり喜んだりすることを目指していることから、体を動かすことの楽しさをどの子も感じることができる活動を増やし、体育の授業に対してより主体的に積極的に参加しようとする生き生きとした子どもたちの姿を目指していきたいと考える。

本校では、昨年度まで「特別の教科 道徳」を2年間研究してきた。お互いの考えを認め合える集団になること、一人ひとりの考えを授業や評価に生かす手立てを考え研究してきた。安心して学べる場があることで、子どもたちはより一層学習に対して意欲的になり、活動的になれることを改めて感じる事ができた。今年度の体育科の研究でも、子どもたち一人ひとりの考えや思いを大切にしたい。

研究主題にある「主体的に運動を楽しむ児童」の姿を目指して以下の「重点目標」を設定する。

- ・重点目標① 自ら進んで運動することを楽しむ児童の育成
- ・重点目標② どの子も運動することを楽しむことができる活動の工夫

2つの「重点目標」を達成するための具体的な手立てを体育科の授業を通して研究していきたい。